

伊那市

社会教育委員



▲木のキーホルダー作りの様子(高遠地区)

TOPIX

- | | |
|------------|--|
| 令和5年 4月21日 | 第1回社会教育委員会議(定例会)を開催しました。《伊那市役所》 |
| 令和5年 6月14日 | 長野県社会教育委員連絡協議会総会に参加しました。
《長野県総合教育センター》 |
| 令和5年 7月 4日 | 諏訪・上伊那地区社会教育委員連絡協議会合同研修会に参加しました。
《伊那市生涯学習センター》 |
| 令和5年 8月21日 | 第2回社会教育委員会議(臨時会)を開催しました。《伊那市役所》 |
| 令和5年 8月24日 | 地域連携・協働フォーラムに参加しました。《諏訪市文化センター》 |
| 令和5年 9月14日 | 長野県社会教育研究大会に参加しました。《長野県総合教育センター》 |
| 令和5年11月17日 | 上伊那社会教育関係者懇談会に参加しました。《伊那公民館》 |
| 令和5年11月22日 | 第3回社会教育委員会議(臨時会)を開催しました。《伊那市役所》
伊那市教育委員との懇談会を開催しました。 |
| 令和6年 1月19日 | 上伊那地区社会教育委員研修会に参加しました。《中川文化センター》 |
| 令和6年 3月19日 | 第4回社会教育委員会議(定例会)を開催しました。《伊那市役所》
(会議に併せ、社会教育委員発!我がまちいいとこ 10 選研修視察) |



伊那市生涯学習基本理念

— 歴史と文化を未来へつなぎ、誰もが心を豊かに育んでいく —

令和5年度第1回社会教育委員会議(定例会)を、令和5年4月21日(金)に伊那市役所で開催しました。本年度事業の取組方針について協議し令和5年度がスタートしました。

社会教育委員の10名です。(任期:令和4年4月～令和6年3月まで)

中村 幸子 会長(富県地区)
寺田 利男 副会長(高遠町地区)
酒井 照明 委員(伊那地区)
黒河内 あけみ 委員(美篤地区)
宮原 晴美 委員(手良地区)
高見 さゆり 委員(東春近地区)
有賀 恵子 委員(西箕輪地区)
山岸 加代子 委員(高遠町地区)



太田 伸 委員(西春近地区)
中山 恵理 委員(長谷地区)

社会教育委員 実践活動の取組

伊那市社会教育委員は、
「社会教育委員による
実践活動の取組」
の6つの柱に沿って、活動を
進めています。

I 現場へ「足」
を運ぶ
～机上の空論で
は意味がない～

II 日頃から「手」に
汗を握る
～自分が
やらずして、
人には言えない～

VI 腹に納めず
「口」に出す
～問われて答え、
そうでなくても
言う～

6つの柱

III 市民から「顔」
が見える
～存在と役割を
知ってもらう
ために～

V 深く掘り下げて
見る「目」を持つ
～特色を捉え、
生かし、
発展させる～

IV 些細な事でも
聴く「耳」をもつ
～個を知ることは、
全容解明の
第一歩～



中村 幸子（富県地区・会長）

社会教育委員を拝命し、五期十年を終えようとしています。この間、私達が過去に経験したことのないコロナ禍を経験し、地域の絆や当たり前と思っていた日常の大切さを思い知らされました。社会教育委員として、様々なイベントや地域や学校に足を運び、一緒に取り組み、情報を共有し、意見を出し、次に生かせる取り組みを図って参りました。委員の皆様推薦の市内の歴史や文化、伝統に触れ学ばせていただきました。さらに、郡・県の研修会等を通じた市町村の社会教育委員の皆様の活動を学ばせていただくと共に懇談も有意義でした。今後この学びを宝に私にできることは積極的に取り組んで参りたいと考えています。ご支援ご協力を賜りました委員の皆様、並びに事務局の皆様に心より御礼を申し上げます。



寺田 利男（高遠地区・副会長）

大阪出身の私に町の公民館長から、市の社会教育への話を聞いてから8年が過ぎました。教育や教育行政に係わりを持たず、社会教育・生涯学習について何の知識もなかったのが町の図書館で調べました。それが法律で決められた組織で、地域の問題解決にも資す大切な仕事であると知りました。

激変する時代は同じでも、私達の時と異なり、子供達が一人で思い悩んでいる姿を見ました。子供は学校にまかせるといってもありますが、何時の時代も、これからも多くの皆さんの世代を超えた交流の重要性を感じます。

多くの市民の皆さんにより一層関心がもたれることを願います。



酒井 照明（伊那地区）

令和4・5年の2年間を振り返り、イベント報告書を列挙してみた。1期目より明らかに参加した数が2倍以上増えている。勿論、コロナ禍（2類→5類）の影響が多大であることは言うまでもない。数だけではなく、イベントの項目まで注視してみた。公民館文化祭、各種美術展、創造館企画展、歴博カフェ、映画上映、人権同和教育講演会等、1期目と比べ内容も多岐にわたり、密度も濃くなっている。まさに、社会教育委員としての仕事、役割、すなわち生涯学習活動の幅の広さと奥の深さを改めて痛感した次第である。

『わがまちのいいところ10選』では、私自身長野日報やケーブルTV、市報、チラシ等で「伊那のよさは!!」と意識してみるようになった。このような小さな意識改革を、市と学校や地域とのパイプ役として、1人でも増やすよう努めたいと思う昨今である。

この2年間、関係各位に感謝の一言である。





黒河内 あけみ (美鷲地区)

社会教育委員として、この二年間何をしてきたのか、振り返ってみると夏休みの地域公民館で行われた「おいで塾」「宇宙の学校」「中尾歌舞伎」を中心に活動してきました。自分としては「地域のことをもっと知ろう」と考えていました。

「おいで塾」では、普段なかなか接することがなかった地域の子どもたちと接することができ、楽しい時間を過ごすことができました。学習の時間と遊びの時間のけじめがついていて、学習の時間では、自分で努力して調べる姿が多く見られました。1人だったら途中でやめてしまう学習も、他の子(異学年)の頑張る姿を見て刺激を受け一生懸命やっていました。午後のスポーツや工作などでも、班で協力している姿が、ステキでした。学校とは違った活動で、高学年がしっかりやっており、いい経験ができたと思い、これからも続けてほしいと思いました。

二年間いろいろな経験ができました。ありがとうございました。



宮原 晴美 (手良地区)

手良公民館の「ストレッチヨガ」の講座に欠席しつつも参加させてもらっている。

ヨガの先生は毎回、「ヨガは人と比べるものではありません。ありのままの自分と向き合うものです。」と言う。この精神こそ、様々な学習の基となるものだろうと思う。

動きは呼吸から始まり、ありとあらゆるところを動かせ、そこに目を向けさせてくれる。活動が終わるころには、この時間、本当に自分を大切にしたいという気持ちになる。この気持ちも本来、様々な学習で味わえるはずの醍醐味というものだろう。

最後に先生は、「ヨガを始める前と後との違いを感じてみましょう。」と言う。ここで比べさせるが、それはあくまでも自分の中での比べである。それもたった一時間半前の。

これまで、こんな風に学習に携わってきたのなら学習も随分楽しかったに違いない。気づくのが遅かった気もするが、こんな気づきをさせてくれた公民館活動に感謝しています。



高見 さゆり (東春近地区)

社会教育委員を仰せつかった日から何かが変わったことに今気づく。それまで何気なく過ごしてきた日々が地域を知るという輝きと多くの方々との出会いと学びとに彩られた。美しくも厳しい伊那市を取り巻く自然、そこで大切に育まれてきた文化の尊さに触れる度に、驚きと共に次世代に伝承して行かなければという強い思いが生じた。

危機的少子化の中、伊那市に育つ子ども達、懸命に支える大人たち、そして様々な経験を積んできたけれど時代についていけなくなってきたシニア世代、共に学びあわなければならない。長い時を経て受け継がれるものを尊ぶ心、育ちゆくおぼろげで細やかな未来を慈しむ心は、科学やAIでは生成できないと信じる。そしてそれを学ぶことが真の社会教育の方向ではないかと思う。

携わらせていただき本当にありがとうございました。



有賀 恵子（西箕輪地区）

社会教育委員としての2年目となる今年度は、地域の活動に参加し地域の皆さんとのつながりが持てたらと考えていましたが、4月に足を骨折してしまい思うように動けない体に焦りや苛立ちを覚えてしまいました。そのような状況の中、市報や公民館、学校からの配布物によく目を通すようになりました。市報には伊那市の「今」の情報がつまっていると改めて感じました。

夏より研修会や地域の活動に参加できるようになり、顔を見て声を出してコミュニケーションがとれるうれしさを感じました。また、地域の「わんぱく親子塾」では、小さな子どもたちの笑顔から元気パワーをたくさんもらいました。

無理をせずできることから地域とのつながりを深めていけたらと思います。

2年間大変お世話になりました。ありがとうございました。



太田 伸（西春近地区）



全国での公民館(分館を含め)の数は長野県が約千七百、次が埼玉県の約五百と圧倒的な数で全国一位です。令和5年5月にコロナウィルス感染症が5類に変更され、公民館の事業活動もコロナ以前の様に戻りつつある中で課題を抱えているのも事実です。コロナ禍の空白の3年間を経て、見直しにより止めてしまふ事業も少なかれ出てきています。事業の新たな方向性も必要なのかもしれません。公民館の事業活動が社会教育の根幹であることはこれからも変わりません。地域の子どもは地域で育てる。その中心となるのが寺中構想から生まれた長野県の地域的な基盤に立つ教育施設としての公民館だと思います。

任期を終えるに当たりお世話になりました関係各位の皆様にお礼を申し上げます。



山岸 加代子（高遠地区）

社会教育委員として一期二年目が終わろうとしています。二年間の活動はどうだったろうか？と思い返してみると、一年目は、まだコロナ禍だった為活動の制限もあり、会議などもオンラインでした。二年目よりようやく社会活動も活発になり、他の市町村の方との意見交流会にも参加させて頂き、その中で伊那市の社会教育委員の活動を他の市町村の方より聞くに当たり、今までの委員の方々の頑張りが伝わり身の引き締まる思いがしました。「我がまちいいところ10選」は、それぞれの委員さんが推薦された場所を視察し知らない事・場所を知る良い機会でした。頭と体を活躍させることが出来た二年間をありがとうございました。



中山 恵理（長谷地区）



社会教育委員として2年の任期が終了する。合計3期6年も務め、いろんなことを勉強・体験させてもらった。特に記憶に残っているのは①長谷小・中学校の卒業式や入学式に参加し子どもたちの希望に満ちた笑顔を見る事が出来た事②長谷の縁側に参加しトウガラシの苗を植え付けたりした事③長谷公民館主催の行事に参加し自分ではなかなか行けない所に行けた事などである。イベントに参加して、その感想や問題点などを報告してきた。それが社会教育委員として役に立ったのかどうかは分からないが、6年間お世話になりどうもありがとうございました。



生涯学習関係イベントや地域の行事等に参加して、感想や良かった点、問題点や課題などを報告書にまとめ、社会教育委員会議で発表することで、委員同士で情報を共有し、また、各担当部署でも、出された意見を事業に生かしています。新型コロナウイルス感染症が5類となったこともあり、本年度はたくさんのイベント等が開催されました。その参加報告の中よりいくつかをご紹介します。



★ 特別展『伊那のお寺と仏教文化』（高遠町歴史博物館） ★

昨年の高遠が誇るお寺の文化財の企画が好評で、その第2弾としての企画でした。高遠エリアだけでなく、上伊那で絶大な影響力を与えた中仙寺の文化財が展示されていて嬉しく思いました。

企画力に、そして収集の努力を讃えたい。大変だったと思われる。中仙寺の地蔵菩薩の像などは壊れそうな像で、よく移動できたと感じました。解説資料も良くできています。展示資料解説は字が小さくて読めないくらいでしたが、ここの展示品それも古いものばかりをこれだけの開設ができることは素晴らしいかった。



★ 夏休み富県おいで塾（富県公民館） ★

富県小学校・新山小学校の1年生から6年生までの児童、50名が参加しての「夏休み富県おいで塾」が、7月27日～8月1日の4日間行われました。初日は民生委員さんの指導の下、雑巾縫いをしました。縫った雑巾は、おいで塾で過ごさせていただいた公民館を、一日の終わりに掃除するときに使用します。

学習、経木工作、高遠町歴史博物館見学、エコジオパーク工作、映画鑑賞等で4日間を過ごしました。1年生から6年生までの6班編成で、6年生の班長・5年生の副班長を中心に、仲良く、助け合い、楽しいおいで塾にしようとしてスタートしました。4日間でほとんどの児童が夏休みの課題帳を終え、各自で自由学習に取り組む姿は、児童の意欲を感じました。最終日には、今回のおいで塾の感想文を作文に書き4日間のおいで塾を締めくくりました。

毎年好評のおいで塾が無事開催でき、嬉しく思っています。おいで塾を通じて新山小学校の児童の皆さんとも顔なじみとなり、今後地域を担う子供たちがお互いを知り、顔の見える交流が今後に生かさせるものと期待します。



★ 特別展『出征兵士と家族の肖像展』（高遠町歴史博物館） ★

戦争の始まりから終わりに至るまでの貴重な諸物品が、一部屋にコンパクトに展示され、まさに「百聞は一見に如かず」の言葉を思わせるイベントであった。

戦後78年、私を含め戦争を実体験したことがない世代が大半を占める中、展示された資料から改めて戦争の悲惨さを感じ、戦争の記憶を風化させてはならない気持ちになった。

「出征兵士と家族の肖像」から、本特別展のメインをなしていた。

地域の方から寄せられたモノクロの貴重な写真とその家族・親族(身内)の方の短いコメントに胸を打たれた。出征された方は、父親、叔父が多かった。コメントには、その写真を撮った当時の家族の思い、苦悩、エピソードが生々しく語られ、共感するものがあった。



★ 第1回美簗防災スポーツフェスタ (美簗小学校 校庭) ★



約50年続いた区民運動会に代わる行事として、今年初めて開催された「防災」と「スポーツ」を組み合わせた運動会。

最初に、自分たちのテントを立てる種目からスタートしました。今までと違った形の住人参加の運動会でした。

その後個人種目の①土のう積み②人力で車いすを引いてみよう③防災クイズ④消火器体験⑤消防団ポンプ搭載車に乗ってみようのブースに分かれて自由に参加しました。

それぞれ参加賞として、防災グッズがもらえました。今までの地区の枠をはずした楽しい企画でした。



★ 森の音楽会 (東春近殿島城址公園) ★

城址公園の広場に小さなステージが設けられ、ふれ愛館利用団体、東春近小学校合唱部など9団体が参加して、4年ぶりに開催された音楽会。コーラスの他、ブラス、フルート、ギター等の演奏に加え、詩吟、ダンス等皆それぞれのパフォーマンスを発表し、楽しい時間となった。

青空の下、全員での「伊那市の歌」「もみじ」の大合唱が城址に響き渡った。地域を一つに心地よいあたたかな集いになった。

地域の実行委員の方々が、準備から運営、片づけまで多くの時間を費やし、実践できた今回の音楽会に心から感謝です。コロナ禍で中止せざるを得なかった期間が長かったこともあり、開催できたことの喜びを強くした。



★ 企画展『伊那まち・1966』 (創造館) ★

「1966年(昭和41年)を軸に昭和の伊那まち その昔と今なくなった物と残ったものを探る」というテーマで1/62の通り町のミニチュア街並みが再現されていました。制作されたのは、小平和夫さん。トールペイントの技法を用いているそうです。

1949年(昭和24年)の大火ののち、洋風3階建ての防火素材に覆われている「看板建築」が立ち並び、魅力ある街となった通り町。「通り町銀座」と称され、1951年(昭和26年)には県下



初のアーケード、1959年(昭和34年)に「王冠ネオン」のアーチが建設されました。残念ながら、1995年(平成7年)に「王冠ネオン」は解体されています。

精巧なミニチュアで、自分がその店の前に佇んでいるような懐かしさもありました。通り町もニシザワデパートがなくなり、また違う姿を見せていますが、当時の賑わいと個性的な看板建築を記憶に留めておきたいと感じました。



★ 宇宙の学校（創造館） ★

科学の楽しさを家族で体験してもらおうと、開催している宇宙の学校。第4回のスクーリングは「ミニプラネタリウム」ということで、一人一人がビニール傘で自分のプラネタリウムを作るといって、毎年恒例のスクーリングでした。ほとんどの子どもが初めての経験でした。初めに説明を聞いてから制作に入りました。一年生の参加者が多かったので、スタートは戸惑



いもありましたが、私だったらどうしようと考えてしまいますが、さすが子どもたちどんどんやっていました。カタカナ表記は大変そうでしたが、頑張っている姿が印象的でした。思うようにならずおうちの人に助けってもらっている子もいましたが、黙々と真剣にやっていました。「こんなに集中していることがなかったのに、すごく頑張っている」という感想も聞かれました。途中で疲れて休憩している姿が見られて、頑張っていることがわかりました。この経験は大切にしたいと思っています。

我がまちのいいところ10選研修視察

深く掘り下げて見る「目」を持つ活動、また、現場へ「足」を運ぶ活動として、各委員が地元の自然、歴史、文化などを推薦し、現地への視察研修を行っています。推薦した委員自身が講師となり、現地を案内します。

伊那市内でも、まだまだ新しいことを知ることが出来、改めて歴史や文化を感じ、学習する機会となっています。

★ 絵島公園（長谷火打平・絵島囲み屋敷跡）、蓮華寺（絵島の墓）・・・長谷・高遠町 ★

絵島は復元された高遠花畑の前、5年間程長谷火打平で城から見張り当番の藩士の下に。三義遠照寺と交流もあり、死後遺体は望みにより蓮華寺に、一部歯は遠照寺に埋葬された。また火打平の囲み屋敷図面を元に花畑に復元されていることなど歴史の一端に触れることが出来ます。絵島公園は高遠方面から来ると、右側の美和ダムに目を奪われ、左側の案内看板には気付けないのは残念。また公園からは樹木が妨げとなり、美和ダム方向への見晴らしがきかないのも、休める東屋もあるだけに残念です。



高遠藩の祈願寺、天皇家の勅願寺（堂屋根の菊の紋章）であった日蓮宗蓮華寺には絵島の墓以外につなぎりを示すもの、今井邦子の歌碑や大正期作家田山花袋が寺裏の奥、夏草の中に倒れていた墓石を見つけた話が残されています。

復元された、絵島囲み屋敷や高遠町歴史博物館に展示されている田山花袋が絵島の墓石を見つけた際に詠んだ和歌とともに、絵島他周囲の人々に思いを巡らせて頂ければと思

います。

昔は高遠の夏には、絵島まつりがありましたが、噂では罪人であることから絵島という名前がなくなったと聞きます。もう少し広い心で考えても良かったのではと思います。その後、絵島はドラマ化され、主人公に仲間由紀恵。名前が残っていれば、絵島まつりに彼女が来訪してくれたのでは…



★ 護国寺 …… 東春近中殿島 ★

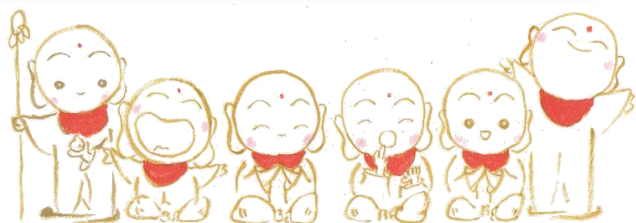
千二百年以上の歴史を持つと言われている寺で 臨済宗妙心寺派 法城山 護国寺。

この寺には二つの見所がありました。

一つ目は地蔵菩薩観音(護国地蔵尊)。三百年程前、高遠藩主鳥居候が西山の地蔵平に安置されていた、恵心僧都作と伝えられる菩薩像を高遠の地に勧請しようとして運搬中、この場所で動かなくなり、この護国寺に安置されたという謂れを持つ。



二つ目は何といても野の花観音。天竜川の河岸段丘を下から河岸段丘の上にある殿島大和守之墓まで34体の観音様が祀られている。その後も観音様は増え続け、今では43体になっています。直近につくられた観音様はひまわり観音様です。訪れるに値する寺院でした。 合掌



★ 伊那街道『伊那部宿・旧井澤家住宅』 ……

旧井澤家住宅は、伊那部宿の最南端にあり宿場最古の建物で、平成 11 年には伊那市の有形文化財に指定されています。

井澤家は、代々造り酒屋を営み財を築き窮乏した藩財政の危機を救ったとのこと。

建物は堂々たる破風屋で、中に入ると広い土間や黒光りの柱障子に映える日差し等と相まって、囲炉裏を中心に多くの人たちが立ち働いている姿が、タイムスリップして見えるようでした。

伊那部宿は南北330m、南北夫々の出入り口は桁型構築がなされて外敵の侵入に備えていました。昔の旅人がどのような気持ちでこの道を歩いたのか、当時に思いを馳せます。

西町 ★



社会教育委員の会議等の様子

… 第1回社会教育委員会議(4月21日) …



↑ 駒石(美簗) いいとこ10選視察 六道の堤 ↓



↓ 春日城跡(手良) いいとこ10選視察



… 上伊那地区社会教育委員研修会(1月19日) …

… 第2回社会教育委員会議(8月21日) …



… 教育委員との懇談会(11月22日) …



中川村でおススメのお茶菓子
をいただきながら…
分科会で交流しました。

社会教育委員の皆さん二年間の任期ありがとうございました。



～歴史と文化を未来へつなぎ、誰もが心を豊かに育んでいく～

伊那市社会教育委員だより

編集・発行 伊那市教育委員会生涯学習課

〒396-8617 伊那市下新田 3050 番地

電 話:0265-78-4111(内線 2721)

FAX:0265-72-4142

Eメール:sgs@inacity.jp

お問い合わせなどは
こちらへ

